

記載例 2（退職等）一括徴収 …給与支払者が未徴収税額を給与または退職手当等からまとめて徴収する場合

◎異動のあった月の翌月の10日までに提出してください。

異動前の特別徴収義務者が記入

市提出用

給与支払報告
特別徴収

に係る給与所得者異動届出書

宛先
「特別徴収」を
○印で囲む

刈谷市長

令和7年 1月 9日提出

（特別徴収義務者）
給与支払者

所在地又は住所
〒448-8501
〇〇市××町18番

名称又は氏名
(株) 刈谷

法人番号又は個人番号
1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4

給与所得者（異動者）
フリガナ
ミカワ ジロウ
氏 名
三河 二郎
生 年 月 日
昭和63年 3月 10日 旧姓
受給者番号
001-0523
個 人 番 号
1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3
異動後の住所
(現 住 所)
刈谷市桜町1丁目150番地
電 話
090 - 1234 - 5678

特別徴収税額
(年税額)
給与天引きの
済月を記入

(ア) 120,000 円
(イ) 70,000 円
(ウ) = (ア) - (イ) 50,000 円

徴収済税額
6 月分から
12 月分まで
(イ)
未徴収税額
1 月分から
5 月分まで
(ウ) = (ア) - (イ)
令和 6 年 12 月 20 日

異動年月日
令和 6 年 12 月 20 日
異動事由
1 退職
2 転勤
3 休職
4 長期欠勤
5 死亡
6 税額が給与額より大きい
7 給与の支払が不定期
8 会社解散
退職した年の1月1日から退職時までの給与支払額
円
控除社会保険料額
円

◎異動のあった月の翌月の10日までに提出してください。

未徴収税額（ウ）の徴収方法を A B C から選択し該当記号を○印で囲み、必要事項を記入してください。

A 転勤・特別徴収継続

新たな特別徴収義務者が
給与から徴収する場合

新 特 別 徴 収 義 務 者	所在地 又は住所	〒
	フリガナ	
	名称又は氏名	
	法人番号	
	連絡先 部署 電話番号	
	担当者	

記入しない

月割額 円を 月分から納入します。
(月 日納期分)

新特別徴収義務者指定番号

新受給者番号

特別徴収税額の納入方法 (該当する納入方法にシをうってください)	納入書使用
	納入書不使用(金融機関の納入サービス利用)

B 一括徴収

退職時の特別徴収義務者が
給与から徴収する場合

一括徴収した税額は 月分とあわせて納入します。

(月 日納期分)

① 異動が12月31日以前で、申出があったため

(月 日 申出)

2 異動が1月1日以降で、特別徴収継続の希望がないため

一括徴収税額
((ウ) の金額)

50,000 円

●1月1日から4月30日までに退職等される方については、一括徴収が義務づけられています。

C 普通徴収

個人で納付する場合

一括徴収しない場合は、次のいずれかを
してください。

記入しない

2 5月31日までに支払うべき給与又は退職手当の
額が未徴収税額以下のため

3 死亡による退職のため

使用する納入書等
の月分を記入